

ふるさと上越を愛し、学ぶ力、豊かな心、
健やかな体をもって、自立と共生ができる子どもを育てる

自分で考え 仲間と共に よりよく判断して行動する子
「ふるさと三和」を愛する子

※三和区の保・小・中学校が連携して育成を目指す子ども像

たくましい子 思いやりのある子 自ら学ぶ子

重点目標

励まし合って解決する活動を積み重ね、一人一人の自己有用感を高める

～子どもに「達成感」を味わわせる活動づくり、授業づくりに努める～

気力の充実

【めざす子ども像】

☆学習や体力づくりのめあてを決め
ねばり強く取り組む子

【教師の主な取組】

- 一人一人に合った「めあての設定」を支援します。
- やり遂げた達成感や満足感が味わえるように活動を支援します。
- 味わった達成感や満足感を、さらなる活動意欲へと高めます。

【児童の主な取組】

- ・「体育大会」「マラソン記録会」等に向け、計画的に体力向上に取り組む。
- ・挨拶運動や清掃活動等、自分ができると、しなければならぬことに取り組む。
- ・日々の授業や家庭学習のめあてを設定し、継続的に取り組む。

【主な評価基準】

- ・NRT学力テストの偏差値を、上越市の平均以上にする。
- ・各期で「自分のめあてを達成できた」という児童を90%以上にする。
- ・「授業中、自分の考えを積極的に発表している」という児童を80%以上にする。
- ・「授業に関係のある家庭学習をしている」という児童を80%以上にする。

地域

- 子どもたちの安全を確保する。
- 積極的に声をかけ、あいさつのできる子を増やす。
- 地域行事への子どもの参加を促し、かかわりを通して地域を愛する心情を高める。

気力と社会性を高める具体的な実践の場
7つの教育期

第1期 4月12日～4月25日

ルールを守ろう

- ・「あいさつ、返事、廊下を走らない」、「〇学年のルール」の徹底に努める。

第2期 4月26日～5月30日

協力してやりとげよう

- ・みんなで協力して係活動や委員会活動、全校遠足や体育大会に取り組む。

第3期 5月31日～7月12日

暑さに負けず挑戦しよう

- ・運動や学習のめあてを立てて、最後までねばり強く取り組む。

第4期 8月31日～10月4日

自分の力を伸ばそう

- ・自分で決めためあての達成に向けて、最後まで、あきらめないで取り組む。

第5期 10月13日～11月17日

頑張ったことを発表しよう

- ・文化祭や音楽祭に向けて、自分たちや上杉のよさを堂々と発表する。

第6期 1月10日～2月14日

寒さに負けず、挑戦しよう

- ・寒さに負けず体力づくりや家庭学習にがまん強く取り組む。

第7期 2月21日～3月13日

感謝の気持ちを伝えよう

- ・1年間を振り返り、お世話になった人々に感謝の気持ちを伝える。

学校・家庭・地域を結ぶネットワークの核として

学校運営協議会の活性化

青少年育成会議との連携

「夢」の共有

社会性の育成

【めざす子ども像】

☆協力して課題を解決する活動を積み重ね、
互いを認め合い、高め合う子

【教師の主な取組】

- 一人一人のよさを生かし、協力して課題を解決しようとする学校づくりを進めます。
- 「体育大会」「文化祭」等の学校行事や総合的な学習の時間を通して、協力してやり遂げる喜びを味わわせます。
- 日々の学校生活に潜む差別や偏見を見逃さず、道徳や同和学習等で取り上げ、互いを大切にしようとする心情を高めます。

【児童の主な取組】

- ・学校行事や縦割り班活動で上級生はリーダーシップ、下級生はフォロワーシップを発揮する。
- ・期ごとに自己評価を行い、成果と課題を自らの日々の行動に生かす。
- ・人権教育、同和教育で学んだことを、日々の生活で発揮する。

【主な評価基準】

- ・各期で「協力してやり遂げることができた」という児童を90%以上にする。
- ・「地域や社会の出来事に関心をもつようになった」という児童を90%以上にする。
- ・「いじめや差別をしなかった、注意できた」という児童を80%以上にする。

家庭

- 正しい生活習慣（挨拶・返事・早寝早起き朝ご飯・アウトメディア等）を育む。
- 家庭で自主学習（学年×10分以上）を毎日やり遂げられるように促す。
- 家庭の一員として継続的に「仕事」に取り組ませる。